

ふじのくにグローバル人材育成事業 報告書

| | | | | | |
|-------------|------------|----|--------|-----|-----|
| 参加した コース | マイ好奇心探究コース | | | 訪問国 | カナダ |
| 学校名 | 静岡県立静岡城北高校 | 氏名 | 佐々木ありさ | 学年 | 2年 |

私は静岡の保育事情について興味をもち、静岡の保育施設をより良くしたいという強い気持ちから、カナダに留学をしました。現在の日本の保育現場では、保育士が子どもに対して虐待をしてしまう事件や、保育士の減少など、さまざまな課題を抱えています。その課題を解決するために、私はカナダの保育内容に興味をもちました。カナダの保育は日本よりも内容が充実しており、先進国の中でも高く評価されているので、実際に現地へ行き、自分の目で確かめたいと思いました。



カナダでは、午前中に語学学校に通いました。語学学校ではレベル分けテストを行い、自分のレベルに合ったクラスで学びました。クラスには私より年上の人が多く、私は最年少でしたが、楽しく英語を学び、積極的に通うことができました。授業では文法を学んだり、ゲームをしたりし、休憩時間にはみんなでソファに集まって雑談をするなど、オンリーイングリッシュの生活を送りました。学校へはバスや電車を使って自力で通学し、その経験も新鮮でした。また、現地の人はとてもフレンドリーで、たくさんの友だちができ、一緒に遊びに行ったり、連絡先を交換して、今でもつながっている友だちを作ることができました。

午後は探究活動を行いました。主な活動は、現地の保育士へのインタビューや、公園で遊んでいる保育園児の保護者への街頭インタビューです。そこから、カナダではレτζョ・エミリア・アプローチ（子どもの個性や創造性、自律性を尊重し、子どもが主体となって学ぶ教育法）が浸透しており、子どもたちが自立して行動していることが分かりました。また、夏でも涼しく日が長いため、広い自然の中でのびのびと遊ぶことがで



き、自然に触れ合う機会が多いと感じました。その分、体力も身につくと考えられます。保育内容が充実しているため安心して預けられる一方で、保育園に入りにくいという日本と似た課題もありました。これらのことから、カナダの保育をそのまま日本に取り入れるのは難しいですが、日本でも、夏でも涼しく遊べる環境づくりや、子どもが主体的に取り組める室内遊びなどは取り入れられると思いました。今後は、カナダで学んだ経験や知識を多くの人に発信し、静岡の保育に明るい未来が来るよう、探究活動を続けていきたいと思います。

